

魔法の medicine プロジェクト 活動報告書

報告者氏名:八嶋有芽香 所属:京都市内の小学校 記録日:2021年2月19日

キーワード:他者との信頼関係,自己表出,コミュニケーション,学習レディネスの形成,学び方

【対象児の情報】

○学年

小学校6年生

○障害名

LDの可能性…昨年度SCIによる見立て

○障害と困難の内容

- ・周囲に合わせた行動や発言を取りがちで,自分の思いや判断で積極的な行動ができない。
- ・感情表現が乏しく,自分の気持ちや感じたことを話すのが苦手である。
- ・概念や抽象的事柄を理解しにくい。
- ・文字から心情を想像したり,読み取ったり,共感したりすることが苦手である。
- ・ノートテイクはできるが,形式上のものになっている可能性がある。

【活動目的】

○当初のねらい

- ①評価のないコミュニケーションを通して,安心して言葉を表出する機会をもつ。また,新しく覚えた言葉を,実際の生活の中で適切に使う場面を増やし,他者とコミュニケーションを取る楽しさを経験する。
- ②意味が理解できない言葉と出会った際に,ICTを自分で使って意味や用法を調べ,言葉を溜め,語彙を増やし,自学自習ができるようになることで,自立へとつなげる。
- ③特性に合った学び方を探し,日々の授業の楽しさを感じる。

○実施期間

令和2年6月～令和3年2月

○実施者

八嶋 有芽香

○実施者と対象児の関係

学級担任

【活動内容と対象児の変化】

○対象児の事前の状況

生活面

- ・基本的な生活習慣が身についており,自分の身のまわりのことは自分で行うことができる。
- ・周囲に合わせた行動や発言をとることが多く,自分の思いや判断で積極的な行動をとることが少ない。
- ・感情表現が乏しく,自分の気持ちや感じたことを話すのが苦手である。

- ・行事等の活動後に感想を述べることに抵抗感を持っている。
- ・相手の考えや思いを受け入れて、自分の生き方や考え方に結びつけ、深めることができない。
- ・読書は好きだが、読書時間に文字だけの本を避けマンガのみを極力選んでいる。
- ・複数での会話になると、自分がこれまで経験したことや日々の出来事を聞いてほしい、知ってほしいという思いが強くなるため、相手の会話を受けて返すのではなく、一方的に話をする。
- ・カメラを向けられることを嫌がり、笑顔で映ることが難しい。(表情が乏しい)

学習面

- ・授業中、真面目に取り組むことができる。
- ・与えられた課題に対して最後まで一生懸命取り組むことができるが、定着しにくい。
- ・板書を写すことはできるが、学力に結びついていない。
- ・単元テストは4年生、5年生の時を受けていない。(学力的に受けられる状態ではないとの判断であった)
- ・概念や抽象的事柄を理解しにくい。
- ・字を書く時の姿勢が悪い。(前のめりになる、肘をつく)
- ・四則計算は継続的な練習を重ねるとできる。
- ・国語等で学ぶ物語文や詩において登場人物の心情を想像したり、読み取ったり、共感したり、主題を考えたりすることが困難である。
- ・学校独自の計算大会結果(昨年度取り組んだ引き算・割り算 100問/3分間)は以下の通りである。

② 計算大会 (3分間) ひき算

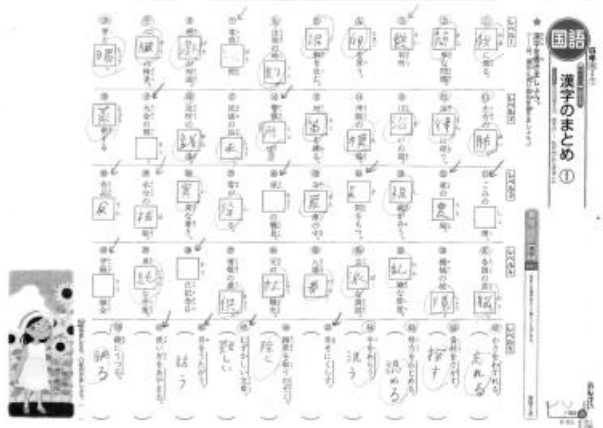
1 16 - 6 = ⑩	21 15 - 9 = ⑫	41 17 - 4 = ⑬	61 11 - 7 = ④	81 18 - 9 = ⑨
2 17 - 9 = ⑧	22 18 - 7 = ⑪	42 16 - 6 = ⑫	62 15 - 2 = ⑬	82 16 - 8 = ⑧
3 10 - 3 = ⑦	23 17 - 5 = ⑫	43 15 - 8 = ⑦	63 14 - 5 = ⑨	83 12 - 7 = ⑤
4 15 - 6 = ⑨	24 19 - 3 = ⑫	44 14 - 10 = ④	64 15 - 10 = ⑤	84 16 - 6 = ⑩
5 14 - 8 = ⑥	25 16 - 1 = ⑮	45 19 - 9 = ⑩	65 16 - 9 = ⑦	85 15 - 0 = ⑮
6 18 - 10 = ⑧	26 17 - 2 = ⑮	46 17 - 7 = ⑩	66 19 - 7 = ⑫	86 16 - 5 = ⑪
7 15 - 7 = ⑧	27 18 - 4 = ⑫	47 15 - 5 = ⑩	67 14 - 6 = ⑧	87 17 - 4 = ⑫
8 20 - 6 = ⑮	28 16 - 0 = ⑮	48 14 - 3 = ⑪	68 20 - 2 = ⑮	88 15 - 3 = ⑫
9 10 - 8 = ②	29 12 - 6 = ⑥	49 15 - 1 = ⑮	69 13 - 6 = ⑦	89 18 - 2 = ⑩
10 18 - 9 = ⑨	30 19 - 8 = ⑪	50 18 - 9 = ⑨	70 16 - 3 = ⑮	90 19 - 1 = ⑮
11 17 - 4 = ⑬	31 14 - 10 = ④	51 19 - 1 = ⑮	71 19 - 2 = ⑮	91 20 - 0 = ⑮
12 15 - 5 = ⑩	32 18 - 9 = ⑨	52 15 - 2 = ⑮	72 16 - 1 = ⑮	92 18 - 4 = ⑮
13 16 - 0 = ⑮	33 17 - 8 = ⑨	53 20 - 3 = ⑮	73 10 - 0 = ⑮	93 15 - 4 = ⑮
14 18 - 5 = ⑮	34 15 - 7 = ⑮	54 17 - 4 = ⑮	74 12 - 5 = ⑮	94 10 - 7 = ⑮
15 17 - 9 = ⑮	35 19 - 6 = ⑮	55 14 - 5 = ⑮	75 15 - 2 = ⑮	95 18 - 5 = ⑮
16 16 - 8 = ⑮	36 14 - 5 = ⑮	56 19 - 6 = ⑮	76 20 - 10 = ⑮	96 16 - 8 = ⑮
17 18 - 10 = ⑮	37 20 - 4 = ⑮	57 10 - 7 = ⑮	77 14 - 9 = ⑮	97 15 - 3 = ⑮
18 18 - 6 = ⑮	38 17 - 3 = ⑮	58 17 - 8 = ⑮	78 14 - 7 = ⑮	98 12 - 7 = ⑮
19 17 - 3 = ⑮	39 18 - 2 = ⑮	59 13 - 9 = ⑮	79 15 - 5 = ⑮	99 19 - 10 = ⑮
20 20 - 5 = ⑮	40 15 - 1 = ⑮	60 18 - 0 = ⑮	80 18 - 2 = ⑮	100 19 - 7 = ⑮

② 計算大会 (3分間) わり算(算) なま

1 56 ÷ 7 = ⑧	21 21 ÷ 3 = ⑦	41 64 ÷ 8 = ⑧	61 27 ÷ 3 = ⑨	81 7 ÷ 7 = ①
2 24 ÷ 6 = ④	22 20 ÷ 5 = ④	42 36 ÷ 6 = ⑥	62 18 ÷ 3 = ⑥	82 54 ÷ 6 = ⑨
3 18 ÷ 3 = ⑥	23 63 ÷ 7 = ⑨	43 64 ÷ 8 = ⑧	63 20 ÷ 5 = ④	83 12 ÷ 6 = ②
4 10 ÷ 5 = ②	24 72 ÷ 9 = ⑧	44 12 ÷ 4 = ③	64 6 ÷ 3 = ②	84 56 ÷ 7 = ⑧
5 64 ÷ 8 = ⑧	25 42 ÷ 6 = ⑦	45 25 ÷ 5 = ⑤	65 40 ÷ 8 = ⑤	85 0 ÷ 0 = ⑮
6 36 ÷ 9 = ④	26 21 ÷ 7 = ③	46 18 ÷ 6 = ③	66 32 ÷ 4 = ⑧	86 49 ÷ 7 = ⑦
7 90 ÷ 10 = ⑨	27 6 ÷ 3 = ②	47 42 ÷ 6 = ⑦	67 48 ÷ 6 = ⑧	87 20 ÷ 5 = ④
8 30 ÷ 6 = ⑤	28 63 ÷ 9 = ⑦	48 45 ÷ 5 = ⑨	68 25 ÷ 5 = ⑤	88 30 ÷ 5 = ⑥
9 10 ÷ 5 = ②	29 6 ÷ 2 = ③	49 24 ÷ 6 = ④	69 40 ÷ 5 = ⑧	89 10 ÷ 2 = ⑤
10 20 ÷ 4 = ⑤	30 36 ÷ 4 = ⑨	50 36 ÷ 9 = ④	70 30 ÷ 5 = ⑥	90 18 ÷ 4 = ④
11 20 ÷ 4 = ⑤	31 63 ÷ 9 = ⑦	51 48 ÷ 6 = ⑧	71 35 ÷ 7 = ⑤	91 54 ÷ 9 = ⑥
12 40 ÷ 5 = ⑧	32 6 ÷ 6 = ①	52 4 ÷ 4 = ①	72 18 ÷ 9 = ②	92 18 ÷ 6 = ③
13 14 ÷ 7 = ②	33 42 ÷ 7 = ⑥	53 24 ÷ 8 = ③	73 30 ÷ 5 = ⑥	93 49 ÷ 7 = ⑦
14 18 ÷ 6 = ③	34 12 ÷ 3 = ④	54 42 ÷ 7 = ⑥	74 40 ÷ 5 = ⑧	94 6 ÷ 3 = ②
15 12 ÷ 6 = ②	35 18 ÷ 3 = ⑥	55 27 ÷ 3 = ⑨	75 28 ÷ 7 = ④	95 24 ÷ 3 = ⑧
16 42 ÷ 7 = ⑥	36 28 ÷ 7 = ④	56 18 ÷ 6 = ③	76 18 ÷ 9 = ②	96 7 ÷ 7 = ①
17 0 ÷ 0 = ⑮	37 27 ÷ 9 = ③	57 24 ÷ 8 = ③	77 15 ÷ 3 = ⑤	97 81 ÷ 9 = ⑨
18 56 ÷ 7 = ⑧	38 25 ÷ 5 = ⑤	58 63 ÷ 9 = ⑦	78 12 ÷ 3 = ④	98 35 ÷ 5 = ⑦
19 20 ÷ 5 = ④	39 54 ÷ 9 = ⑥	59 40 ÷ 5 = ⑧	79 32 ÷ 4 = ⑧	99 36 ÷ 9 = ④
20 30 ÷ 5 = ⑥	40 56 ÷ 7 = ⑧	60 8 ÷ 4 = ②	80 9 ÷ 1 = ⑨	100 42 ÷ 7 = ⑥

↑ 計算のスピードが遅く、3分間で73問目までしか到達していない。(72点)

↑ 計算のスピードが遅く、3分間で82問目までしか到達していない(78点)



← 7月当初の漢字テスト、空欄が多い。

・上記の内容をまとめると以下の表①のようになる。

(表①)

聞く	話す	読む	書く	音読	書字
△意味が分からない言葉が多い。	△詳細を順序立てて説明できず、指示語ですまそうとする。	×論理的な内容に比べ、人の心情等の抽象的な概念が読み取れない。	×「何と書いて良いのか分からない」という発言が多い。	×語句のまとまりを認識して読むことができず、棒読みになる。	△毛筆は正しい姿勢で書ける。普段の硬筆は姿勢が崩れ、字も乱れがちである。ノートテイクに抵抗感はない。
計算	体育	理科の実験	実技教科	話し合い活動	漢字
△整数の計算はできるが、小数や分数はできない。	△身体能力を高く発揮する種目とそうでない種目との差が大きく、アンバランスである。	◎積極的に取り組んでおり、本人も好きだという自覚がある。	○つきつめて完成させようというこだわりは少ないが、どの教科も器用にこなす。	×メモを取ることが苦手であり、議題にそって話し合うことができない。	△既習漢字の定着が低い。

○活動の具体的内容

<対象生徒の実践>

ねらい①についての取組

担任と信頼関係を築くことを中心に、自己表出の機会を増やした。

- ・日々の出来事で思ったことや感じたこと、行事後の感想を担任がその都度問いかける場面を作った。「おもしろかった」「楽しかった」「やったで」だけの簡単な語彙の返答が多いため、「何が?」「どのように?」「なんでそう思ったん?」と具体的に話すように促した。
- ・授業中は「先生」と「児童」という立場の違いを意識した接し方をするが、それ以外の場面では「友達」「姉妹」「母子」関係のように接することを意識した。担任が母親のように親身になって接することで、感情の表出がしやすい時間をもった。
- ・教職員全体が対象児童にとって家族や親戚のように関わり、感情を言葉で表す場面を増やした。例えば、行事の後や休み時間等に廊下ですれ違う際「今日は○○どうやった?」「□□についてどう思った?」等の日常的なさりげない質問を投げかけた。
- ・グラウンドへの行き帰り(徒歩5分程度)の散歩のような時間を活かして、積極的な会話を促した。(図1)

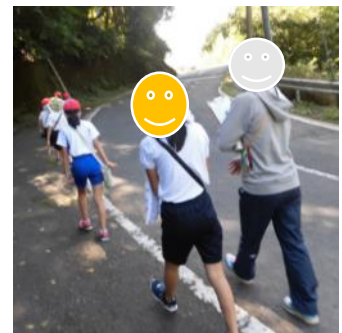


図1 グラウンドへの行き帰り

感情が表情や言葉につながることをお手本として示した。

- ・感情を伝える際にはあえてオーバーなりアクションで示し、感情表出のお手本となるように心がけた。
- ・国語の教科書巻末に掲載されている「考えや気持ちを伝える言葉一覧」を使用して、2週間に1回ジェスチャーゲーム形式で身振りや表情と言葉をつなげる練習をした。まずは担任がお手本を示し、出題者を変えながら楽しく遊んだ。

「By Talk for school」を使用した。

- ・社会科見学で、校外に出て気付いたことや発見したことを写真と一緒に校内の教職



員へ送り、iPad のアプリを通して文字での会話を楽しんだ。

「Amazon Echo」はクラスメイト的な使用をした。

・週1回程度、休み時間に天気予報やだじゃれ等の内容でアレクサに話しかけた。話している内容を受けて、担任との会話を広げることができた。(図2)

図2 アレクサに話しかける様子→



ねらい②についての取組

iPad の使用を日常的にした。

・iPad に肩からぶら下げられるカバーを付け、いつでも教室の机横から手に取れるようにした。また、行事や理科の移動教室等では、常に持ち運ぶようにした。ICT に対して手軽なものとしての認識が高まった。(図3)



図3 iPad の使用

「Kindle」を使用した。

・言葉を溜めることを目標とし、「Kindle」は様々な教科で授業中に辞書として数回使用した。しかし、タップしてから時間がかかってしまう点が使用しづらかった。そのため継続的にはできなかった。

「常用漢字筆順」「じしょ君」を使用し、分からない言葉を自分で調べられるようになることを目指した。

・漢字は書けるが読み方が分からなかったり、意味が分からない言葉に出会ったりした際に自分で調べる方法を身に付けさせた。「常用漢字筆順」は書き順の確認としても役立った。「じしょ君」は出てくる意味そのものが難しい表現であることも多く、補助の説明が必要不可欠であった。

 kindle	じしょ君	 常用漢字筆順
		

ねらい③についての取組

掲示物

「Bitsboard」を使用した。

- ・「Bitsboard」は抽象的な言葉の意味を作成して説明することが難しかったため、児童の身近なものを写真に撮り、それを代用として廊下に掲示し、視覚を通した言葉の習得をねらった。



「ロイノート for school」「Google 検索」「Simple Mind」を各教科で横断的に使用した。

- ・社会科の歴史の授業では「ロイノート for school」を使い、板書にプラスして絵や写真を入れたものを作成し、テスト前の学習時に振り返りとして使用した。
- ・総合的な学習の時間で取り組んでいるポスターセッションの準備のために、週に1・2度、1日に1時間程度「Simple Mind」「ロイノート for school」「Google 検索」を使って調べ学習の内容を整理した。
- ・当日のポスターセッションの発表でも「ロイノート for school」を使用し、自分でスワイプしながら発表をした。(図4)
- ・「Simple Mind」を使用して連想の方法を伝え、発表内容を深めさせた。道徳の「あいさつについて」や理科の「食物連鎖」学習、総合的な学習の時間で思考の整理をする際にも指導者の手を借りずに「Simple Mind」を使用することができた。



図4 発表の様子



Simple Mind

道徳	理科	総合的な学習の時間

教科書付属のQRコードを活用した。

- ・算数の授業では課題把握の導入時や補充問題、今までの単元の振り返り

で活用した。また、国語では導入として筆者のインタビューの動画を視聴した。

「Memory Aid」で授業内容を記録し、イメージや写真、図、絵等を使った振り返りをした。

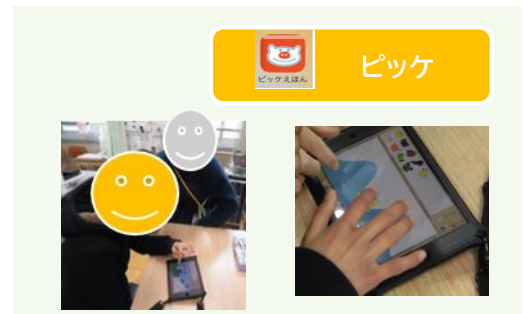
・図工では「彫りすすみ版画」を進める際にこれまでの工程を記録したり、理科では実験結果を記録したりすることで、次時の学習に移る際、導入の手立てとして活用した。(図5)



図5 Memory Aid

低学年に対する読み聞かせの機会を持つために「ピッケ」を使ってオリジナル絵本を制作している。

・1年生や新入生に向けた絵本制作をしている。自分の作品とアプリのサンプルと見比べながら、自力で背景やキャラクターの動きを表現しようと試行錯誤していた。何度か取り組む度に作った文章を推敲し、物語の時系列や状況、図の構成の工夫をした。



体の触れ合いを通して、四肢の使い方のアンバランスさを改善する機会を持った。

・朝学活後に定期的に担任とストレッチをしたり、部活動のウォーミングアップで柔軟体操やステップの練習に取り組んだりした。
・昼休みには一緒に体を動かす遊び(リレー、鬼ごっこ、縄跳び、ドッジボール等)をすることで、体幹や柔軟性を鍛えた。遊びを通して和気あいあいと一緒にしゃく時間を過ごした。(図6)



図6 昼休みの様子

○対象児の事後の変化

ねらい①に対する変化

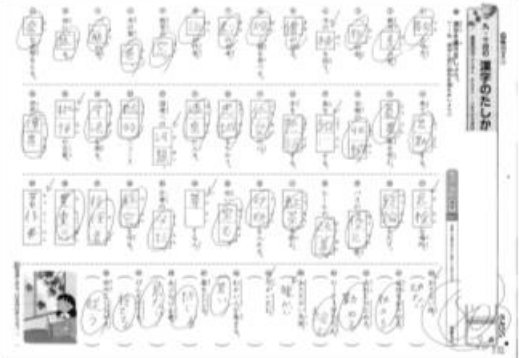
- ・クラスメイトが転校したことに寂しさを感じていることもあるが、非常に穏やかに過ごすことができている。転校した友だちのことをふと思い出したり、放課後や休日の過ごし方について話したり、家庭であった出来事や自分の家族への思いを話したりするようになった。
- ・担任との信頼関係が深まったことで、安心して思いを出せるようになり、表情も豊かになってきた。授業中に自分の思いをつぶやく様子が見られるようになった。
- ・普段の授業や休み時間に自分からすすんで他者に話しかけている様子が見られ、人前で発表する場面では大きな声ではきはきとした発表をすることができた。
- ・写真を撮る際に、表情をつけられるようになってきた。
- ・年度当初はテストの結果に無関心だったが、高得点を望むようになってきた。ケアレスミスを発見すると、テスト返却後に「あーっ」と声を出して悔しがる様子が見られた。

ねらい②に対する変化

・ICTを手にとって操作することが日常的なものとなり、操作性も向上

した。

- ・授業中に空いた時間があると、iPad を自ら使用し、アプリを活用したい
- た。
- ・言葉に対する困りを感じた際に、iPad のアプリを使用することが定着して
- きた。
- ・感想を述べる際には、理由を入れたり(～だから…)、逆接の接続語(～
- は…だけど…)を使ったりして話すことができるようになってきた。
- ・ポスターセッションの発表では、質疑応答の時間に自らすすんで質問
- や感想を述べるようになった。
- ・様々なアプリを使用している中で、漢字を目にする機会が増え、漢字の
- 習得率が向上した。



↑ 12月頃の漢字テスト(80点)
空欄が少なくなった

ねらい③に対しての変化

- ・マインドマップの連想図を自ら制作し、課題を解決する思考の過程を整理することができ
- るようになった。
- ・指導者が特性に合った授業改善を進めてきたことで、
- 対象者の理解が深まりテストの得点へつながった。
- ・授業中の姿勢が改善された。(図7)

自作のマインドマップ

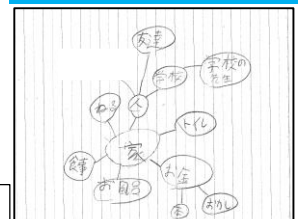
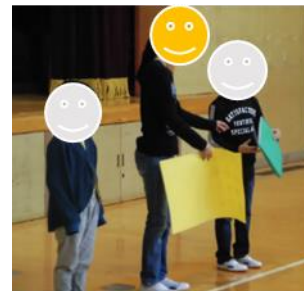


図7 姿勢

【報告者の気づきとエビデンス】

○主観的気づき

・以前は表情が乏しかったが、楽しい時は大声で笑ったり都合が悪い時は愛想笑いを浮かべたりするようになった。また、ごまかす時に目が泳ぐ時もあり表現の幅や細やかな動きが広がった。



・語彙が増えたことによる自信から、委員会活動におい

て委員長の自覚が芽生え、司会進行や下級生への指示を的確に行えるようになってきた。

図8 委員会

(図8)

- ・対象児童の心づもりがなく突然人前で発表する際、緊張や照れくささの表情を出すようになった。
- ・学習に意欲的に取り組むようになったことで、計算能力も向上した。
- ・部活動のウォーミングアップのステップが軽やかに踏めるようになった。

○エビデンス(具体的数値など)

・学校独自の計算大会結果(2月18日に取り組んだ引き算・割り算100問/3分間)は以下の通りである。

計算大会		ひき算		なまえ()		2分45秒	
1 16 - 6 = (12)	21 15 - 9 = (6)	41 17 - 4 = (13)	61 11 - 7 = (4)	81 18 - 9 = (9)			
2 17 - 9 = (8)	22 18 - 7 = (11)	42 18 - 6 = (12)	62 15 - 2 = (13)	82 16 - 8 = (8)			
3 10 - 3 = (7)	23 17 - 5 = (12)	43 15 - 8 = (7)	63 14 - 5 = (9)	83 12 - 7 = (5)			
4 15 - 6 = (9)	24 19 - 3 = (16)	44 14 - 10 = (4)	64 15 - 10 = (5)	84 16 - 6 = (10)			
5 14 - 8 = (6)	25 16 - 1 = (15)	45 19 - 9 = (10)	65 16 - 9 = (7)	85 15 - 0 = (15)			
6 18 - 10 = (8)	26 17 - 2 = (15)	46 17 - 7 = (10)	66 19 - 7 = (12)	86 16 - 5 = (11)			
7 15 - 7 = (8)	27 18 - 4 = (14)	47 15 - 5 = (10)	67 14 - 6 = (8)	87 17 - 4 = (13)			
8 20 - 6 = (14)	28 16 - 0 = (16)	48 14 - 3 = (11)	68 20 - 2 = (18)	88 15 - 3 = (12)			
9 10 - 8 = (2)	29 12 - 6 = (6)	49 15 - 1 = (14)	69 13 - 6 = (7)	89 18 - 2 = (16)			
10 16 - 9 = (7)	30 19 - 8 = (11)	50 18 - 9 = (9)	70 16 - 3 = (13)	90 19 - 1 = (18)			
11 17 - 4 = (13)	31 14 - 10 = (4)	51 19 - 1 = (18)	71 19 - 2 = (17)	91 20 - 0 = (20)			
12 15 - 5 = (10)	32 18 - 9 = (9)	52 15 - 2 = (13)	72 16 - 1 = (15)	92 18 - 4 = (14)			
13 16 - 0 = (16)	33 17 - 8 = (9)	53 20 - 3 = (17)	73 10 - 0 = (10)	93 15 - 4 = (11)			
14 18 - 5 = (13)	34 15 - 7 = (8)	54 17 - 4 = (13)	74 12 - 5 = (7)	94 10 - 7 = (3)			
15 17 - 9 = (8)	35 19 - 6 = (13)	55 14 - 5 = (9)	75 15 - 2 = (13)	95 18 - 5 = (13)			
16 16 - 8 = (8)	36 14 - 5 = (9)	56 19 - 6 = (13)	76 20 - 10 = (10)	96 16 - 8 = (8)			
17 16 - 10 = (6)	37 20 - 4 = (16)	57 10 - 7 = (3)	77 14 - 9 = (5)	97 15 - 3 = (12)			
18 18 - 6 = (12)	38 17 - 3 = (14)	58 17 - 8 = (9)	78 14 - 7 = (7)	98 12 - 7 = (5)			
19 17 - 3 = (14)	39 18 - 2 = (16)	59 13 - 9 = (4)	79 15 - 5 = (10)	99 19 - 10 = (9)			
20 20 - 5 = (15)	40 15 - 1 = (14)	60 18 - 0 = (18)	80 18 - 2 = (16)	100 19 - 7 = (12)			

↑ひき算 2分 45秒 99点

計算大会 (3分間)		わり算		なまえ()		2分53秒	
1 56 ÷ 7 = (8)	21 21 ÷ 3 = (7)	41 64 ÷ 8 = (8)	61 27 ÷ 3 = (9)	81 7 ÷ 7 = (1)			
2 24 ÷ 6 = (4)	22 20 ÷ 5 = (4)	42 36 ÷ 6 = (6)	62 18 ÷ 3 = (6)	82 54 ÷ 6 = (9)			
3 18 ÷ 3 = (6)	23 63 ÷ 7 = (9)	43 64 ÷ 8 = (8)	63 20 ÷ 5 = (4)	83 12 ÷ 6 = (2)			
4 10 ÷ 5 = (2)	24 72 ÷ 9 = (8)	44 12 ÷ 4 = (3)	64 6 ÷ 3 = (2)	84 56 ÷ 7 = (8)			
5 64 ÷ 8 = (8)	25 42 ÷ 6 = (7)	45 25 ÷ 5 = (5)	65 40 ÷ 8 = (5)	85 0 ÷ 0 = (0)			
6 36 ÷ 9 = (4)	26 21 ÷ 7 = (3)	46 18 ÷ 6 = (3)	66 32 ÷ 4 = (8)	86 49 ÷ 7 = (7)			
7 90 ÷ 10 = (9)	27 6 ÷ 3 = (2)	47 42 ÷ 6 = (7)	67 48 ÷ 6 = (8)	87 20 ÷ 5 = (4)			
8 30 ÷ 6 = (5)	28 63 ÷ 9 = (7)	48 45 ÷ 5 = (9)	68 25 ÷ 5 = (5)	88 30 ÷ 5 = (6)			
9 10 ÷ 5 = (2)	29 6 ÷ 2 = (3)	49 24 ÷ 6 = (4)	69 40 ÷ 5 = (8)	89 10 ÷ 2 = (5)			
10 20 ÷ 4 = (5)	30 36 ÷ 4 = (9)	50 36 ÷ 9 = (4)	70 30 ÷ 5 = (6)	90 16 ÷ 4 = (4)			
11 20 ÷ 4 = (5)	31 63 ÷ 9 = (7)	51 48 ÷ 6 = (8)	71 35 ÷ 7 = (5)	91 54 ÷ 9 = (6)			
12 40 ÷ 5 = (8)	32 6 ÷ 6 = (1)	52 4 ÷ 4 = (1)	72 18 ÷ 9 = (2)	92 18 ÷ 6 = (3)			
13 14 ÷ 7 = (2)	33 42 ÷ 7 = (6)	53 24 ÷ 8 = (3)	73 30 ÷ 5 = (6)	93 49 ÷ 7 = (7)			
14 18 ÷ 6 = (3)	34 12 ÷ 3 = (4)	54 42 ÷ 7 = (6)	74 40 ÷ 5 = (8)	94 6 ÷ 3 = (2)			
15 12 ÷ 6 = (2)	35 18 ÷ 3 = (6)	55 27 ÷ 3 = (9)	75 28 ÷ 7 = (4)	95 24 ÷ 3 = (8)			
16 42 ÷ 7 = (6)	36 28 ÷ 7 = (4)	56 18 ÷ 6 = (3)	76 18 ÷ 9 = (2)	96 7 ÷ 7 = (1)			
17 0 ÷ 0 = (0)	37 27 ÷ 9 = (3)	57 24 ÷ 8 = (3)	77 15 ÷ 3 = (5)	97 81 ÷ 9 = (9)			
18 56 ÷ 7 = (8)	38 25 ÷ 5 = (5)	58 63 ÷ 9 = (7)	78 12 ÷ 3 = (4)	98 35 ÷ 5 = (7)			
19 20 ÷ 5 = (4)	39 54 ÷ 9 = (6)	59 40 ÷ 5 = (8)	79 32 ÷ 4 = (8)	99 36 ÷ 9 = (4)			
20 30 ÷ 5 = (6)	40 56 ÷ 7 = (8)	60 8 ÷ 4 = (2)	80 9 ÷ 1 = (9)	100 42 ÷ 7 = (6)			

↑わり算 2分 53秒 100点

○その他エピソード

・担任とアイコンタクトを取って意思疎通をしたり、反対に目を逸らす事で嫌な思いを出したりするやりとりをするようになった。プラスの感情はもちろんのこと、これまで表出することが少なかったマイナスの感情も出せるようになり感情が豊かになってきていることがわかる。バーバルコミュニケーションだけでなく、ノンバーバルなコミュニケーションも楽しむことができている。今では、担任とは冗談を交えながらの会話を楽しんでいる。

・国語科の学習で、座右の銘について考えた。彼女が家庭学習の中で選んできた言葉は「雲外蒼天」。四字熟語の難しい言葉を選んできたことは意外だった。しかし、その言葉に自分の4年生の頃の経験を重ね合わせ、当時の先生たちの言葉や自分の心情を思い出し、600字程度の作文にすることができた。